

小諸市自治基本条例を踏まえた具体的取組事例（追加）

第 4 章 参加と協働

【第 28 条取組事例等】

（1）協働のまちづくりの推進

①公募による新ごみ焼却施設の建設候補地選定

信頼される施設をめざし、地域の皆さんに計画段階から事業に参加していただくため、公募による新ごみ焼却施設の建設候補地の選定を実施しました。

- ・平成 20 年 10 月 1 日 新ごみ焼却施設の建設候補地公募の開始
旧町村単位での説明会を開催するとともに、要望に応じて区ごとの説明会（17回）を開催しました。
- ・平成 21 年 2 月 7 日、3 月 7 日 ごみ焼却施設見学会の開催
武蔵野市クリーンセンターへの施設見学会を開催しました。
2 月は区対象、3 月は全市民対象（広報で周知）で募集し、延べ 120 名が参加しました。
- ・平成 21 年 3 月 30 日 新ごみ焼却施設建設候補地検討市民会議の設置
建設候補地を検討するため、市内の各種団体の代表や公募委員からなる市民会議（総勢 10 名）を設置しました。
- ・平成 21 年 3 月 31 日 公募の締切（4 区から 8 地区の応募）
菱野区から 2 地区（稲荷地区・小姓地区）、滝原区から 4 地区（下深沢地区・中西原地区・広ッ原地区・下三ッ久保地区）、西浦区から袴腰地区、宮沢区から川原畑地区の応募がありました。
- ・平成 21 年 10 月 30 日 新ごみ焼却施設建設候補地検討市民会議から市長への報告
12 回の市民会議を経て、滝原区中西原地区、菱野区稲荷地区、宮沢区川原畑地区を推奨するとの報告が、市長へなされました。
- ・平成 22 年 2 月 3 地区で概要説明会を開催
市民会議から推奨された 3 地区の関係者を対象に説明会を開催し、意見交換を実施しました。（2 月 11 日滝原区中西原地区、2 月 14 日宮沢区川原畑地区、2 月 18 日菱野区稲荷地区）
- ・平成 22 年 3 月 30 日 菱野区稲荷地区を建設候補地に決定

②信州大学・小諸市産学官連携協定

信州大学繊維学部及び工学部、小諸市、事業者が、相互に連携・協力して地域経済の活

性化を図るため、平成19年5月17日に協定を結びました。

主に次のような事業を行っています。

- ・事業者と大学との共同研究、技術相談、意見交換会
- ・学生の市内事業所へのインターンシップ
- ・事業者、大学、市との交流会

③まちづくり協定（景観形成住民協定）

地区で、建物の色彩・形態などの外観や緑化など、景観づくりのルールを決め、景観を守っていくための協定です。

これに対し、市からは景観形成補助金の交付などの支援を行っています。

ア) 本町区まちづくり協定

締結日：平成12年2月19日 地区：旧北国街道

本町区が指定管理者として管理運営している「ほんまち町屋館」を拠点とし、各種団体と連携しながら様々な観光や地域交流イベントなどの活動を実施しています。

10月から始まる本町通りの交通実験にも参加しています。

イ) 荒町区まちづくり協定

締結日：平成12年9月18日 地区：旧北国街道

荒町通りへの花の設置など景観形成事業を中心に活動を実施しています。

ウ) 与良区まちづくり協定

締結日：平成13年1月18日 地区：旧北国街道

与良区が指定管理者として管理運営している「与良館」を拠点とし、区・協議会・運営委員会と連携しながら、観光や地域交流イベントなどの活動を実施しています。

平成24年度佐久地域景観賞 まちづくり活動部門 優秀賞を受賞しました。

エ) 大手まちづくり協定

締結日：平成13年2月18日 地区：大手門周辺、馬場裏通り周辺

南佐久の休耕地で菊を栽培し、鉢植にして通りに飾ったり、畑でひまわりなども栽培し、園児から高齢者までの幅広い世代間交流により活動を実施しています。

平成24年度佐久地域景観賞 まちづくり活動部門 知事賞を受賞しました。

オ) 市町区本陣裏町まちづくり協定

締結日：平成16年10月5日 地区：旧北国街道

カ) 相生町通りまち並み協定

締結日：平成22年1月29日 地区：相生町通り、小諸駅前

電線類地中化工事や市庁舎・病院等の一体整備を機に、店舗の修理修景ガイドラインの作成や、まちづくりプランナーを招いての活動を実施しています。